

NB ロック施工要領書



2021年10月29日



株式会社 総合開発
コンクリート事業部

1. 掘削・基面整正

設計図に示されているとおりの掘削及び基面整正を行う。

2. 基礎工

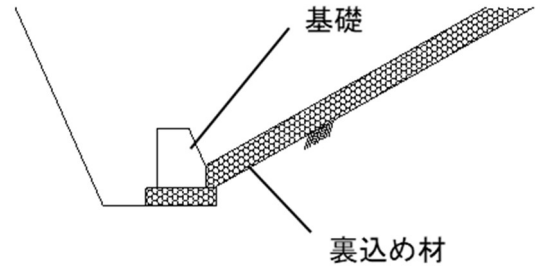
- ・設計図に基礎材がある場合、所定の基礎砕石を撒きだし転圧する。
- ・型枠を設置し、コンクリートを打設する。

3. 裏込め材

- ・設計図に従い、裏込め材を設置する。
- ・裏込め材は、十分転圧を行う。

4. 製品据付

- ・設計図に従い、製品の据え付けを行う。
- ・法長が 50cm 以下の端数が出る場合および延長が 100cm 以下の端数が出る場合は、現場打設もしくは調整パネルを使用し施工を行う。

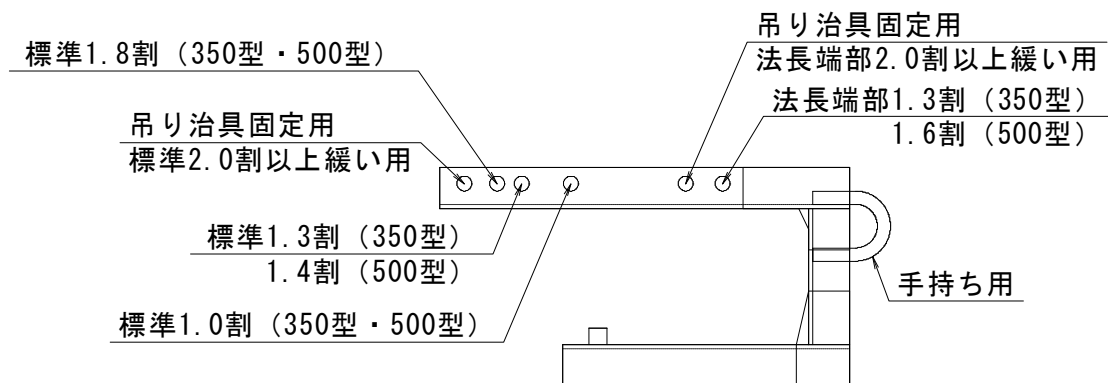


4-1 製品吊り金具の取り付け方法


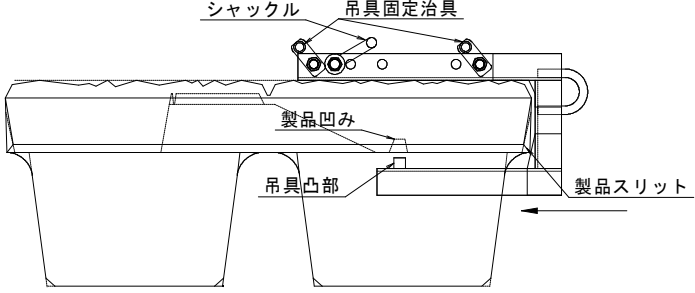

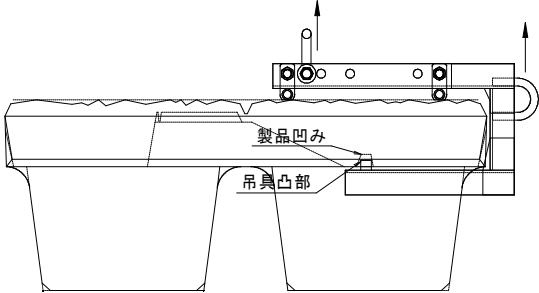
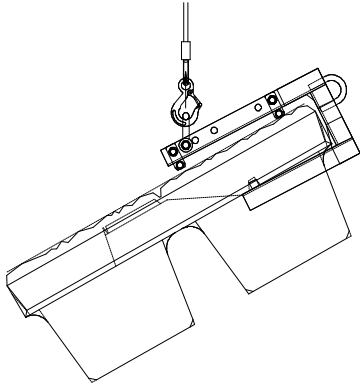
- ・吊り金具

所定の勾配になるように吊り用シャックル位置を移動する。

【標準ブロックおよび法長端部ブロック用吊り金具】



・専用の吊り金具は下図の方法で確実に取り付ける。

<p>① 製品スリットに合わせて吊り金具を差し込む</p>	 <p>吊り金具凸部と製品凹み</p> 
<p>② 製品背面の凹みと吊り金具凸部を合わせ、吊り金具を引き上げ、吊り金具と製品の間でできた空間に吊具固定治具を差し込み固定する。</p>	 <p>取り付け時は、製品中央寄りの吊具固定治具から差し込む</p> 
<p>③ 所定の勾配になるように移動したシャックルにて吊り上げる。</p>	

4-2 製品吊り込み

- ・製品を吊り上げる際は、吊り金具と製品が固定されていることを確認し、急激な引き上げは避け、吊り上げる。



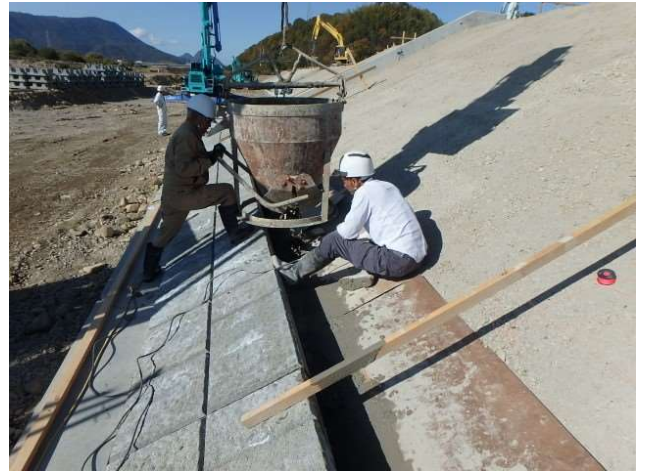
4-3 据え付け

- ・所定の位置に高さを調整しながら据え付ける



5. 胴込コンクリート打設

- ・ 1段ごとに胴込めコンクリートを打設、締固めを行います。



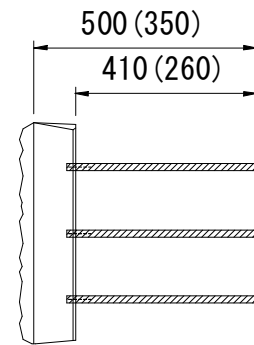
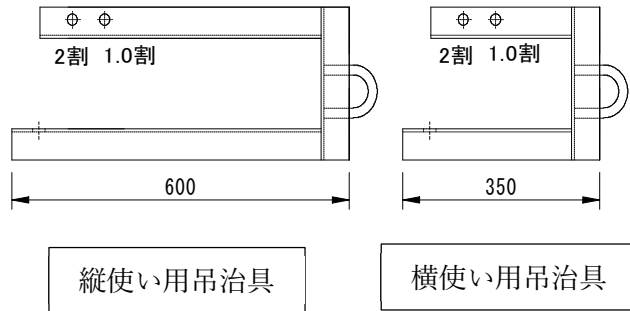
呼び名		胴込め コンクリート量 (m^3 /個)
350 型	標準	0.185
	法長端部	0.091
	調整パネル	0.130
500 型	標準	0.314
	法長端部	0.156
	調整パネル	0.205

- ・ 2段目以降も1段目と同様の要領で施工します。

6. 天端および延長の調整パネル施工方法

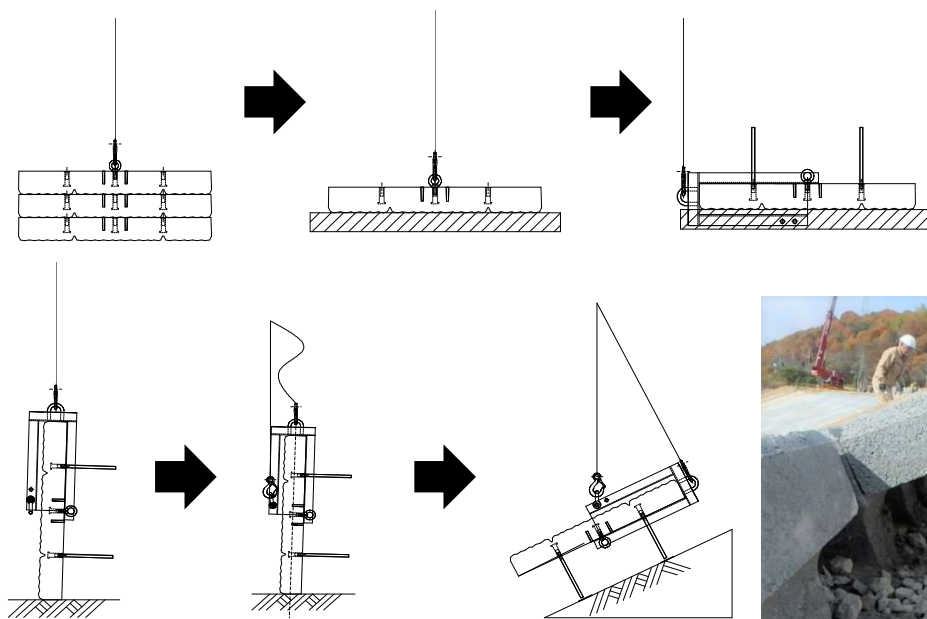
・設計書に従い所定の天端工を設けます。

※天端に調整パネルを使用する場合は、専用吊り金具を使用して、下図要領で設置して下さい。



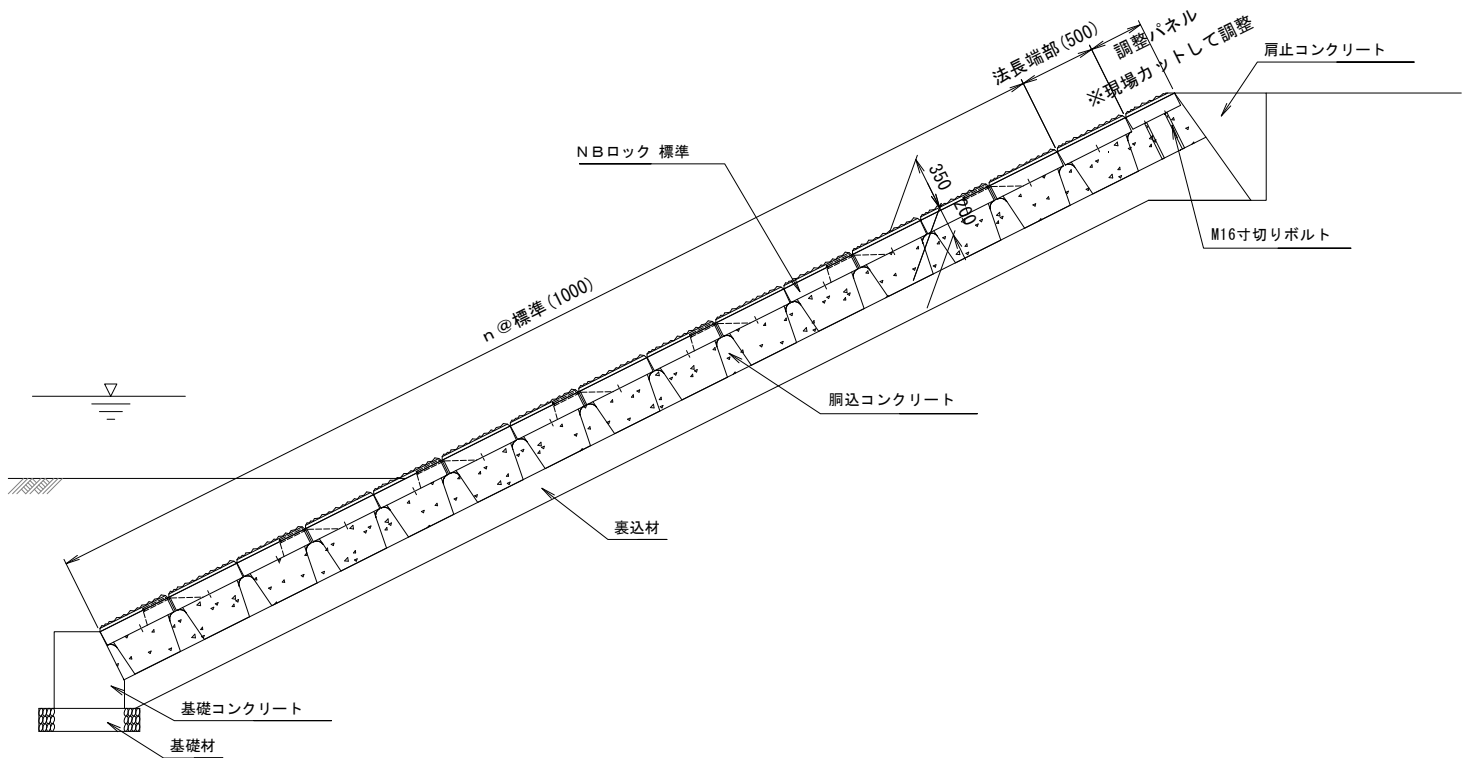
調整パネル鉄筋M16 寸切ボルト
L285 (控 350)、L 435 (控 500) 4 本/個
(現場に応じて準備してください)

- ①アイボルト (M16×35) で製品を吊り上げ、りん木等の上におろします。
- ②専用吊治具をアイボルト (M16×35) で固定し、寸切りボルト4本を取り付けます。
- ③パネル天端側を吊り上げ製品を起し、転倒防止のため吊り上げフックをとりつけたまま、所定の勾配になるようにフックを追加し吊り上げ設置します。寸切りボルトが碎石に沈み込む場合は、製品と製品の間に欠損防止のため3mmのライナープレートを設置しておりますのでご活用ください。



7. 標準断面図および配列図

7-1 標準断面図



7-2 標準配列図

